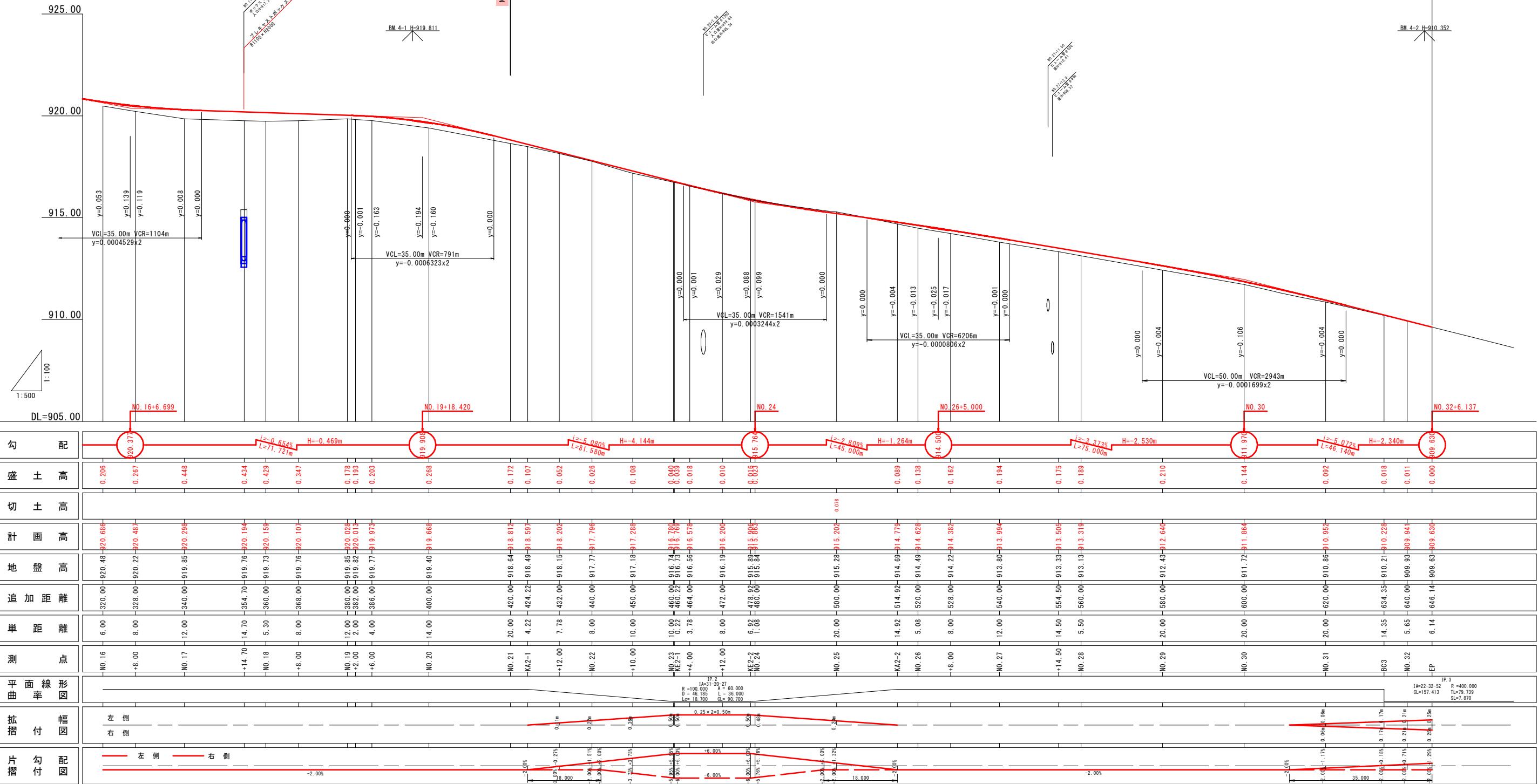


道路規格 第3種第4級 道路改良計画延長 L=646.14m W=5.50(9.50)m

R7施工延長 L=106.0



R7年度 公共 起工

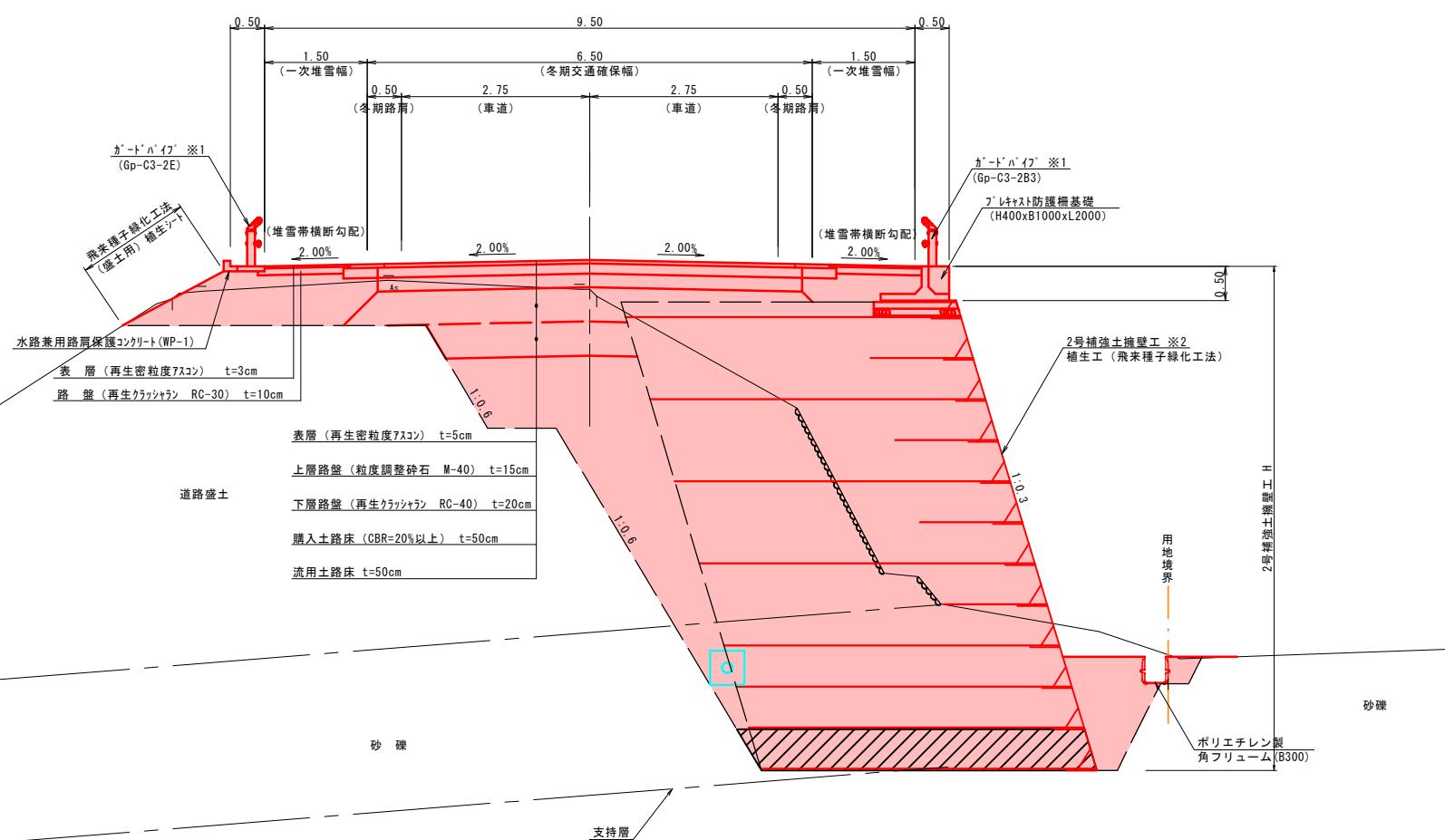
路線名	県道倉吉江府溝口線		
県道倉吉江府溝口線(御机工区) 堆雪帯設置工事(5工区)(交付金雪寒)			
図名	縦断面図 (其の 2 )		
位置	日野郡江府町御机		
縮尺	V=1:100 H=1:500	単位	M
図号	全 16 葉中の内 3		
令和 7 年度施行	鳥取県		
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時：縮尺50%

## 標準横断図 (2)

S=1:50

NO. 18付近



### 設計条件

構造規格 第3種第4級

設計速度 40 km/h

設計基準項目	単位	規格値	採用値
最小曲線半径	m	60	100
望ましい値	m	100	
最小曲線長	m	500/θ	—
最小曲線長	m	70	79.865
最大片勾配	%	6	6
最小緩和区間長	m	35	35
最小視距	m	40	40以上
最大縦断勾配	%	7	5.992
特例値	%	10	
最小縦断曲線長	m	35	35
最小値	m	凸450	
望ましい値	m	凸700	791
最小縦断曲線半径	m	凹450	
望ましい値	m	凹700	1104
標準横断勾配	%	2	2.00
最大合成勾配	%	11.5	7.862

### 舗装計画

設計基準項目	基準目標値	採用値
舗装計画交通量 (台/日・方向)	40 ≤ T < 100 (N <sub>3</sub> )	
設計 C B R	3 %	
T A	15.0	15.25
構成層	等値換算係数 厚さ 换算値 最小厚	
表層	1.00	5.0 5.00 4cm
上層路盤	0.35	15.0 5.25 7cm
下層路盤	0.25	20.0 5.00 7cm
計	40.0	15.25 cm

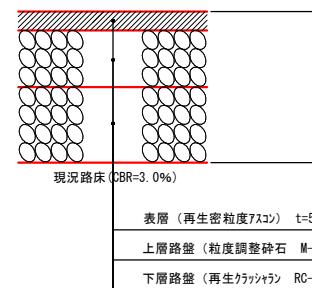
注) 表層・基層の最小厚・・・4cm (合計)  
路盤材最小厚・・・7cm

### 舗装構成

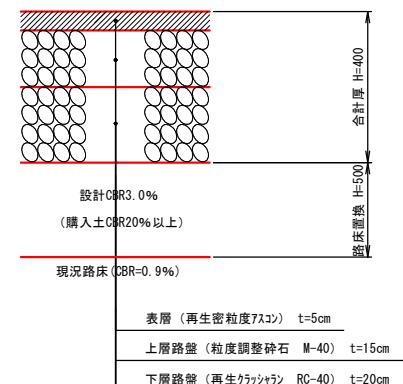
S=1:10

車道舗装

切土部



盛土部 (現況道路盛土部を含む)

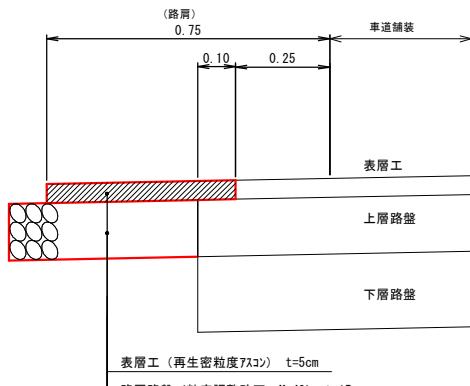


※舗装施工は現地CBR試験を行った後に行うこと。

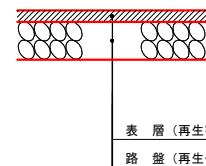
※路床盛土厚50cmで現況地盤に着床しない場合は、発生土を用いて路床構築を行うこと。

ただし、路床盛土の最大厚は100cmとする。

路肩舗装



耐水処理



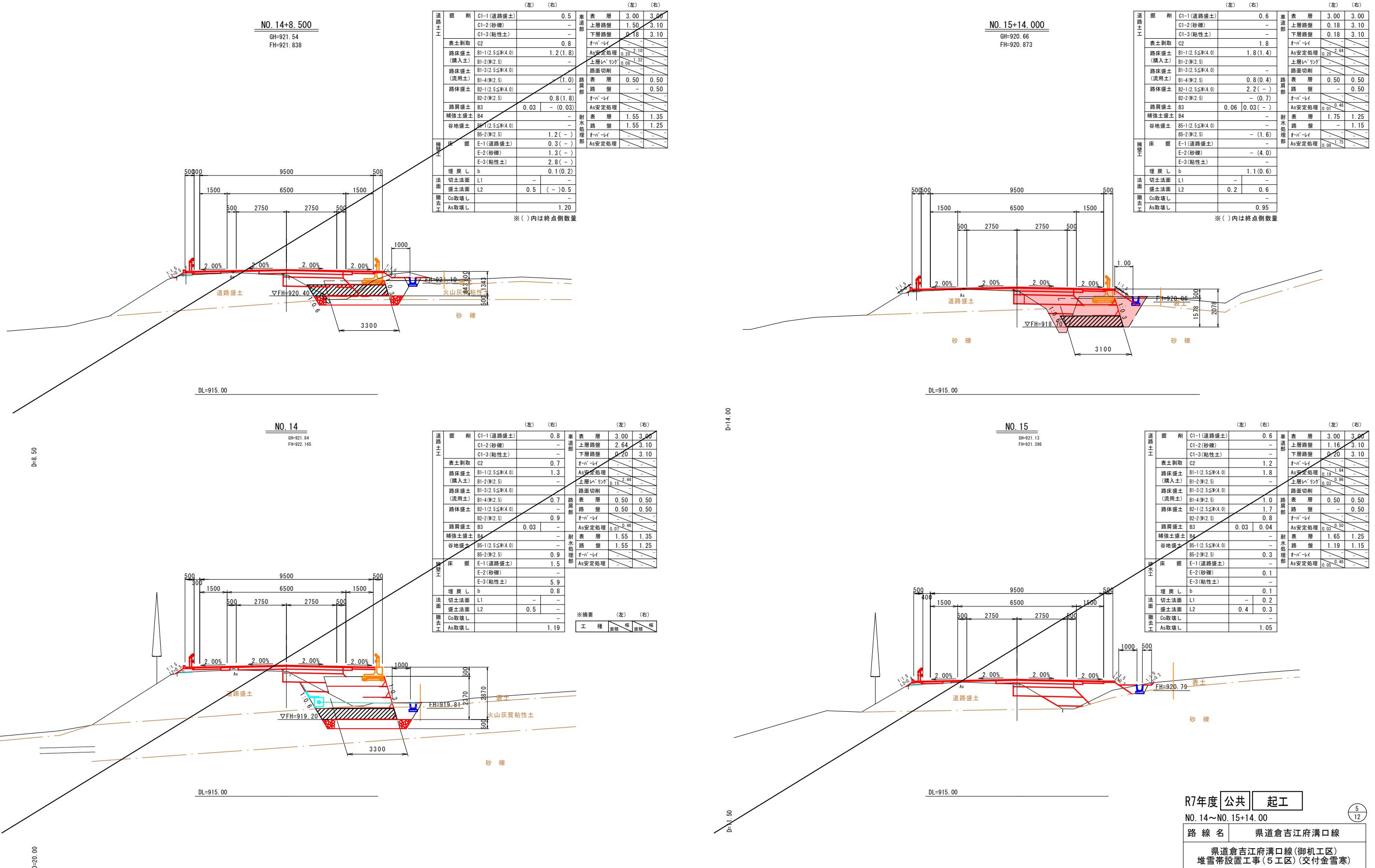
R7年度 公共 起工

路線名	県道倉吉江府溝口線
図名	標準横断面図 (其の )
位置	日野郡江府町御机
縮尺	図示 単位 M
図号	全 16 葉中の内 4
令和 7 年度施行	鳥取県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

※1 ガードパイプは景観型とし、色はダークブラウン (10YR2.0/1.0程度) とする。

※2 降雨時の増水及び河床洗掘が予測されるため、施工後は必要に応じて寄石等により補強土擁壁基礎部前面の保護を行うこと。

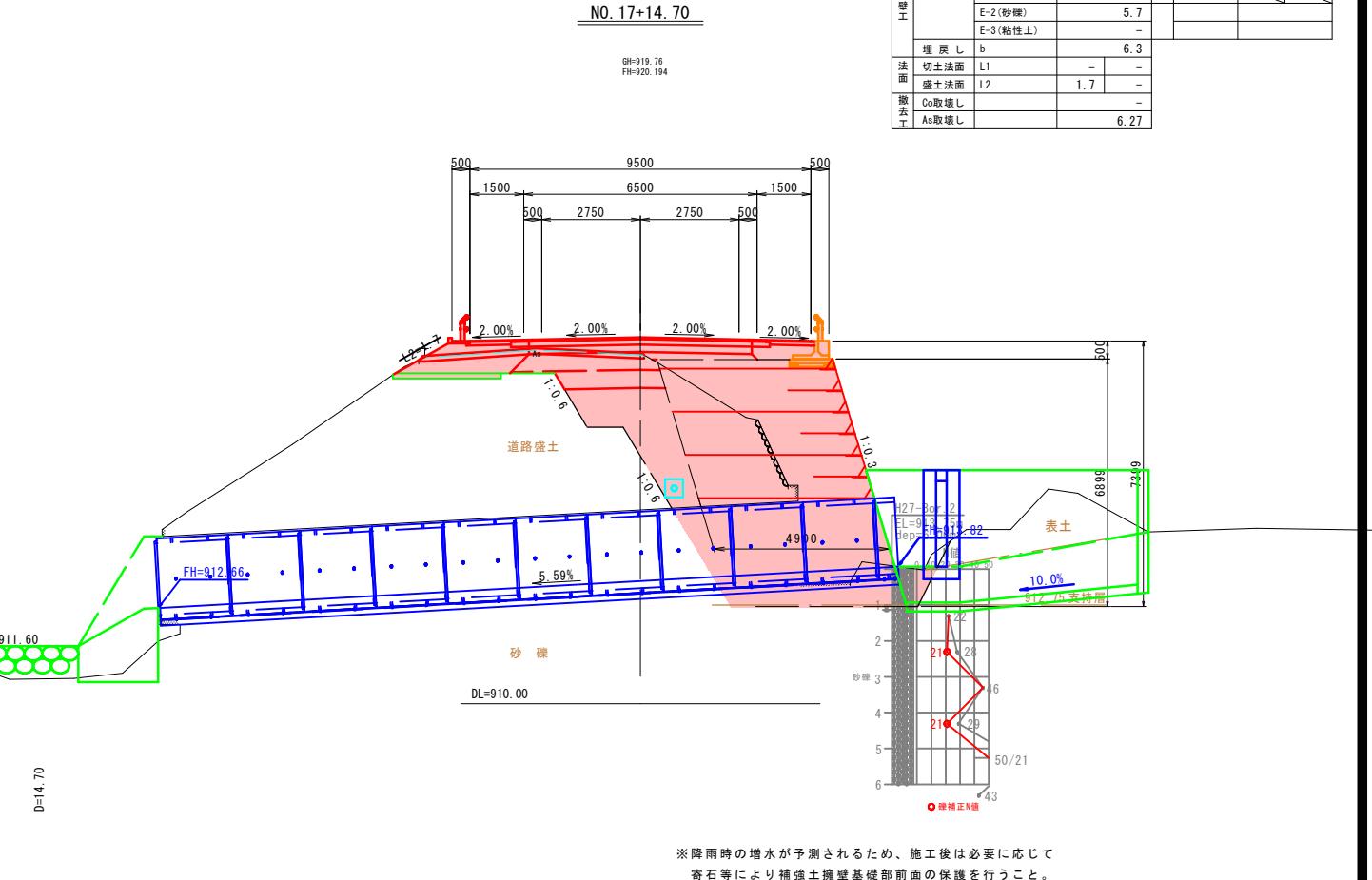
※A3出力時: 縮尺50%



**R7年度 公共 起工**  
NO. 14～NO. 15+14.00

路線名	県道倉吉江府溝口線	
県道倉吉江府溝口線(御机工区) 堆雪帶設置工事(5工区)(交付金雪寒)		
図名	横断面図 (其の )	
位置	日野郡江府町御机	
縮尺	1:100	単位 MM
図号	全 16 葉中の内 5	
令和 7 年度施行	鳥取県	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局		

※A3出力時：縮尺50%



※降雨時の増水が予測されるため、施工後は必要に応じて  
砂石等により補強土擁壁基礎部前面の保護を行うこと。

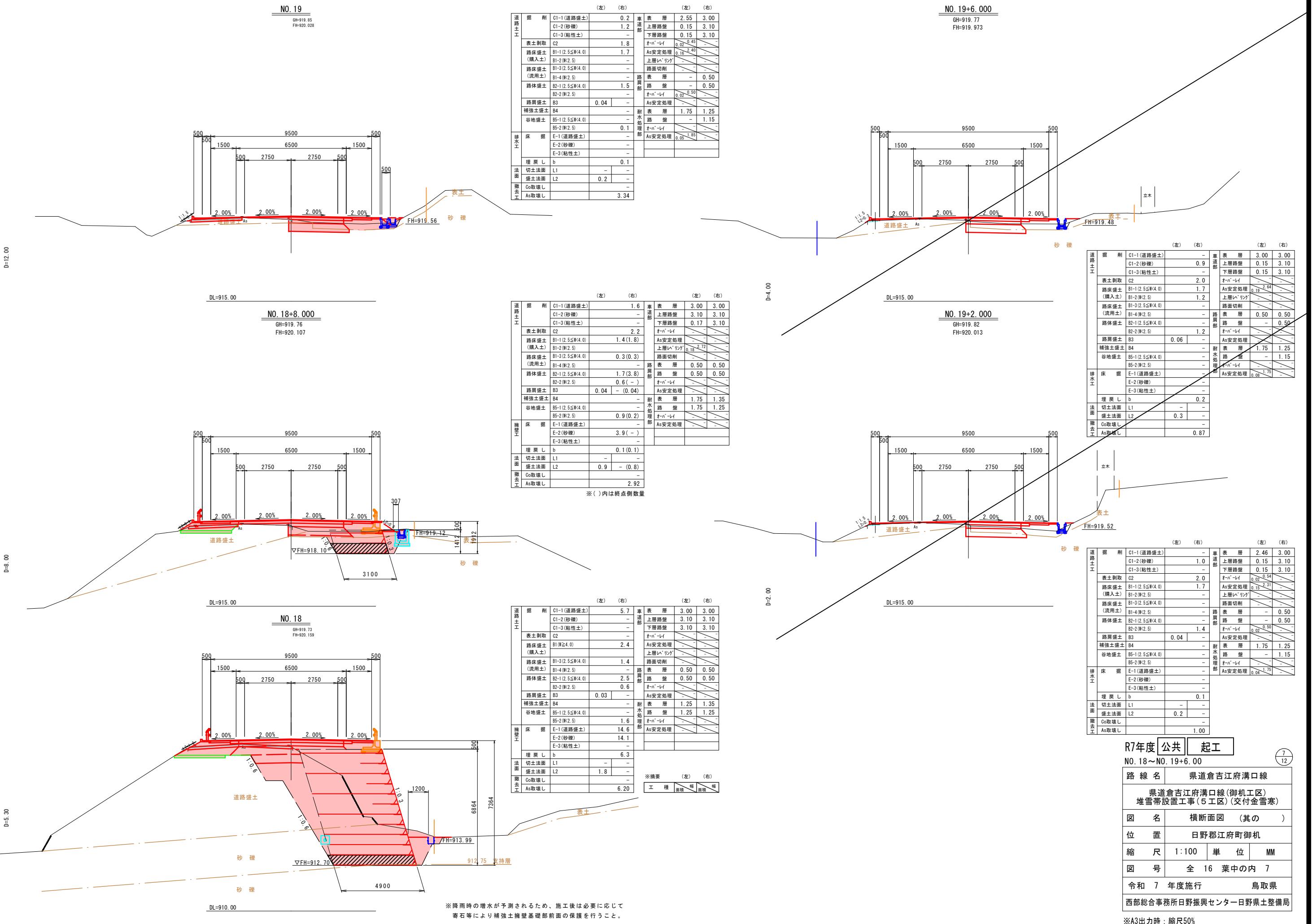
R7年度 公共 起工

NO. 16～NO. 17+14.70

6 12

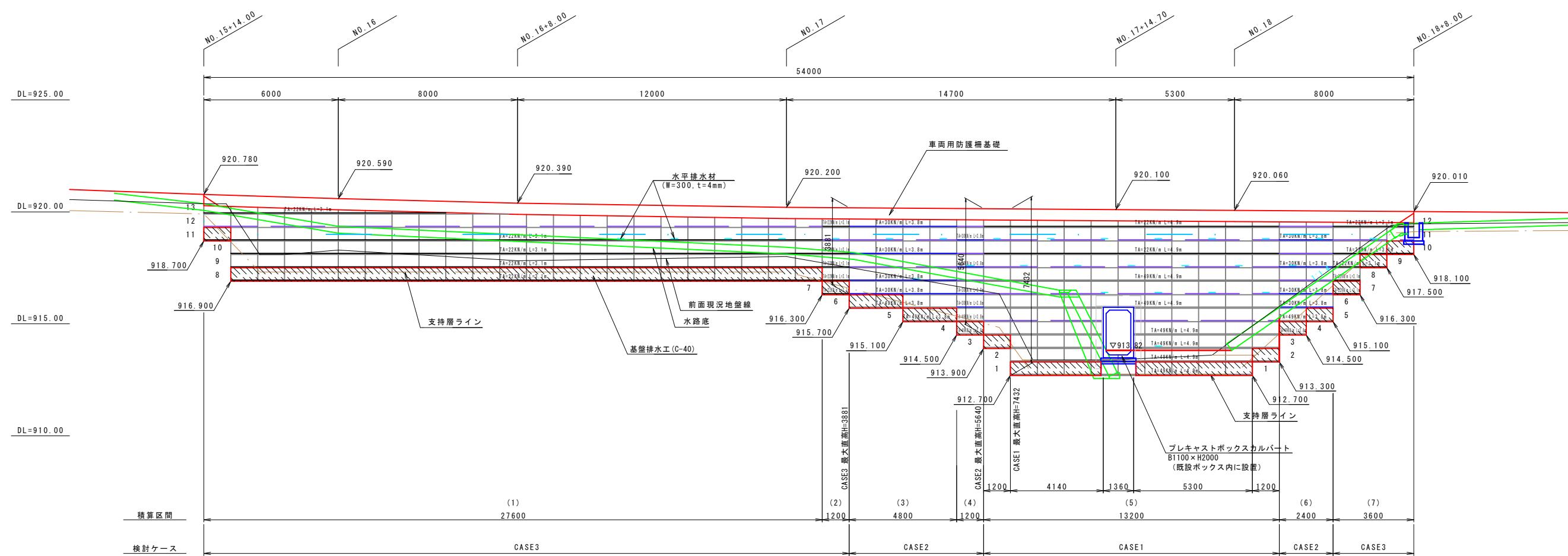
路線名	県道倉吉江府溝口線	
県道倉吉江府溝口線(御工区)		
堆雪帯設置工事(5工区)(交付金雪寒)		
図名	横断面図(其の )	
位置	日野郡江府町御机	
縮尺	1:100	単位 MM
図号	全 16 葉中の内 6	
令和 7 年度施行	鳥取県	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局		

※A3出力時：縮尺50%



## 2号補強土擁壁工展開図

縮尺 1:100



### 特記事項

材 料 表				
凡 例	名 称	規 格 尺 寸	単 位	数 量
■	ジオグリッド (主補強材)	TA=22kN/m	m <sup>2</sup>	549.6
		TA=30kN/m	m <sup>2</sup>	127.6
		TA=49kN/m	m <sup>2</sup>	408.9
■	壁面強化材	TA=10kN/m	m <sup>2</sup>	156.6
■	のり面ユニット	W=1200, H=600	set	322.0
■	水平排水材	W=300, t=4mm	m	111.1
△	補強拘束ネット付植生シート	種子なし	m	386.4
△	連結金具	ジオグリッド同士連結	set	77.0
△	ユニット連結金具	ユニットの連結	set	72.0
△	層厚管理材	不織布	m <sup>2</sup>	332.4
△	固定ピン	D10×200L	本	1,338.0
△	天端排水材	不織布 目付300g/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	197.1

設計条件		
盛土材	内部摩擦角	$\phi = 30.00^\circ$
	単位体積重量	$\gamma = 19.00 \text{ kN/m}^3$
	粘着力	$c = 0.00 \text{ kN/m}^2$
CASE_1	常時	$q_a = 157.837 \text{ kN/m}^2$
	地震時	$q_a = 149.536 \text{ kN/m}^2$
CASE_2	常時	$q_a = 122.124 \text{ kN/m}^2$
	地震時	$q_a = 113.743 \text{ kN/m}^2$
CASE_3	常時	$q_a = 86.018 \text{ kN/m}^2$
	地震時	$q_a = 77.554 \text{ kN/m}^2$

※降雨時の増水が予測されるため、施工後は必要に応じて  
寄石等により補強土擁壁基礎部前面の保護を行うこと。

補強土壁工	面状補強材（ジオテキスタイル）を層状に敷設し、補強材の引張力と土との摩擦抵抗力によってせん断強さを補強し、安定した盛土構造物を構築する
盛土材料	土質条件 単位体積重量 $\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$ 粘着力 $c = 0.0 \text{ kN/m}^2$ せん断抵抗角 $\phi = 30.0^\circ$
基礎地盤	・施工前に盛土材の土質試験を実施し、設計定数を確認する ・発注機関の定める規定値に従い、締固め管理を行う ・盛土材料は適切な含水比とする
排水工	・良好な地盤又は適切な処置が施された地盤とする ・床堀り完了後に所定の支持力を満足するか確認する
壁面材	・適切な排水処理を施す ・予期せぬ湧水が確認された場合は速やかに排水対策を行う ・施工中は仮排水工を設けるなどして、盛土本体や壁面部へ水を導かないよう排水処理を行う ・補強土壁の底盤は排水対策を施す
補強材	・鋼製壁面材は、盛土材を拘束し所定の締固め度が得られる十分な剛性を有すること ・壁面材の座屈や回転等を防止するため、斜体部材、横方向部材および回転防止部材を用いた構造とする ・主補強材は(財)土木研究センターの建設技術審査証明報告書を有する製品とする ・主補強材は、4.5%程度の伸度で所定の引張強さを発現する面状の材料とする ・織材等による主補強材の耐衝撃性は、90%以上の強度保持率を有する材料とする ・隣接する主補強材の敷設は、突合せを基本とする（ラップする必要は無い） ・曲線部や折れ部において、隣接する主補強材間の隙間が10cm程度以上となった場合は、同質・同等の材料にて隙間を埋める
安全管理	・労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守する

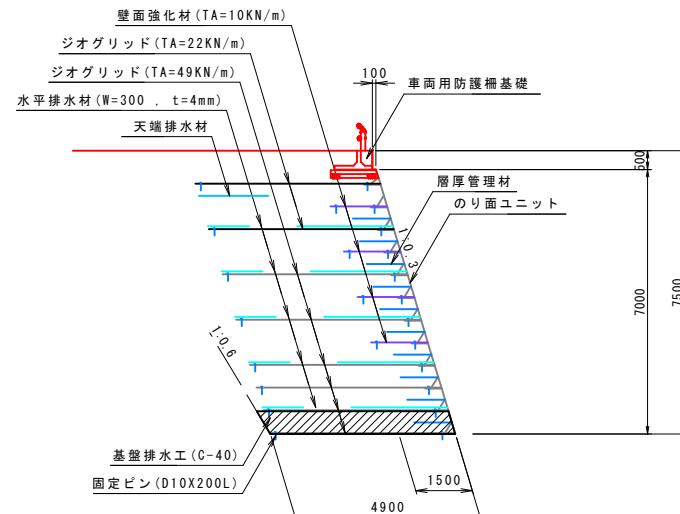
R7年度 公共 起工

路 線 名	県道倉吉江府溝口線					
県道倉吉江府溝口線(御机工区) 堆雪帶設置工事(5工区)(交付金雪寒)						
図 名	2号補強土擁壁構造図(其の 1)					
位 置	日野郡江府町御机					
縮 尺	1:100 単 位 MM					
図 号	全 16 葉中の内 8					
令和 7 年度施行	鳥取県					
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局						
※A3出力時：縮尺50%						

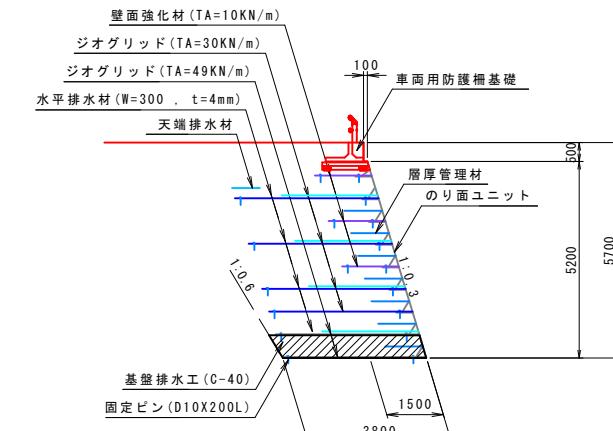
## 2号補強土擁壁工標準断面図

縮尺 1:100

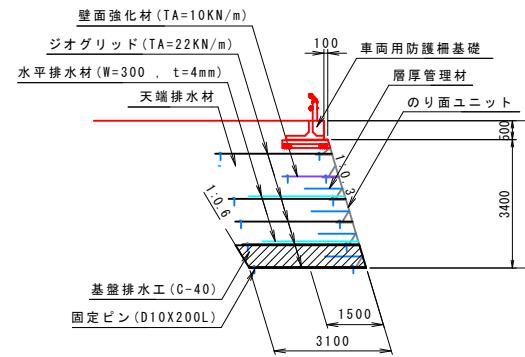
CASE1



CASE2

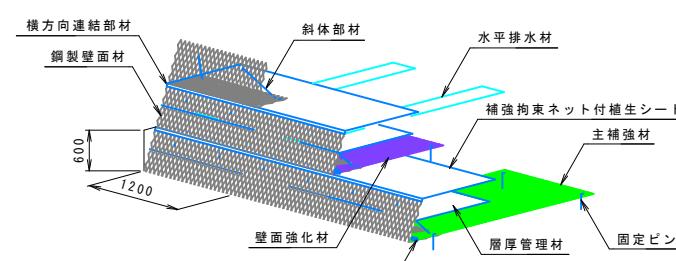


CASE3

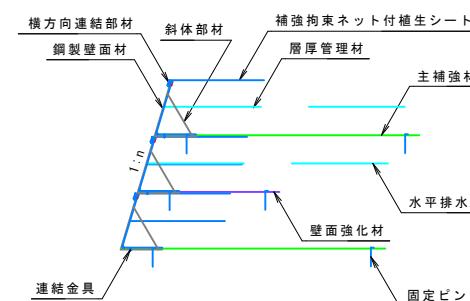


## 概念図

のり面詳細図



壁面部詳細図



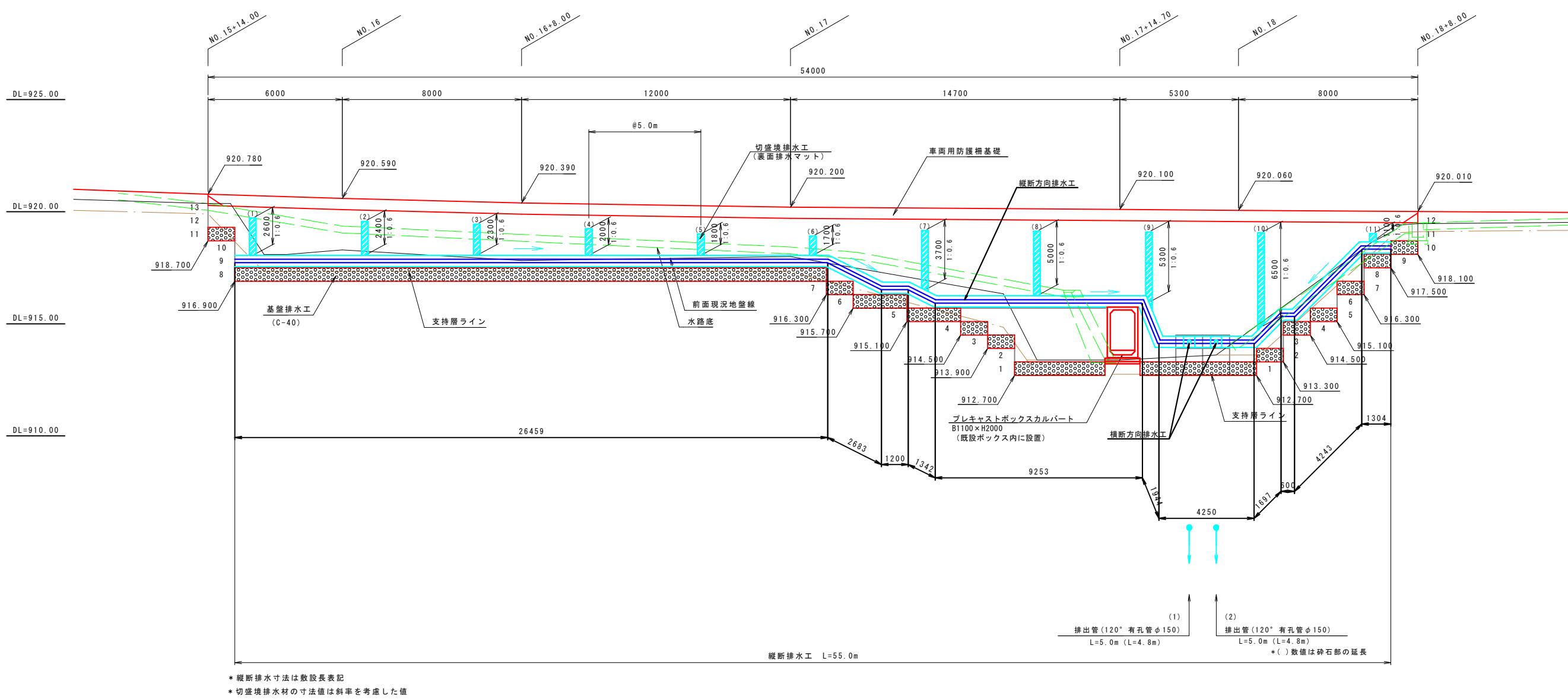
R7年度 公共 起工

路線名	県道倉吉江府溝口線	
県道倉吉江府溝口線(御机工区) 堆雪帶設置工事(5工区)(交付金雪寒)		
図名		2号補強土擁壁工構造図(其の 2 )
位置		日野郡江府町御机
縮尺	図示	単位 MM
図号	全 16	葉中の内 9
令和 7 年度施行		鳥取県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局		

※A3出力時：縮尺50%

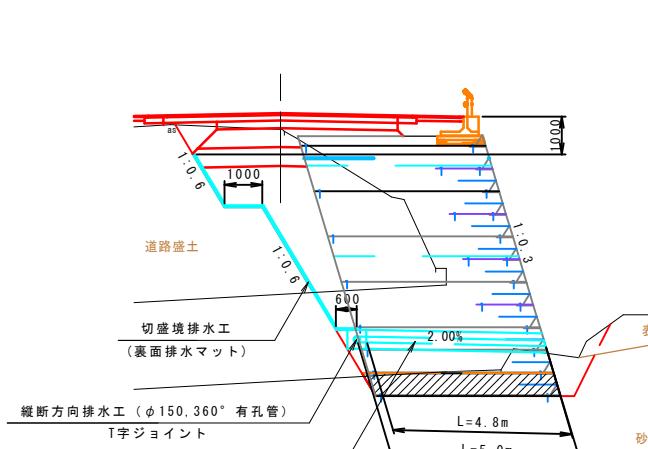
## 2号補強土擁壁工排水計画図

縮尺 1:100

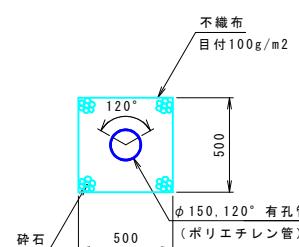


### 排水工詳細図

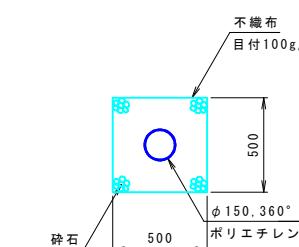
#### 標準断面図 縮尺 1:100



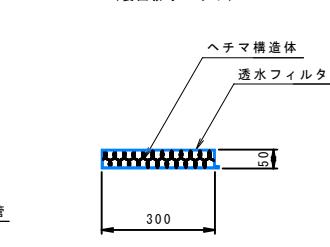
#### 横断方向排水工 S=1:20



#### 縦断方向排水工 S=1:20



#### 切盛境排水工 S=1:10 (裏面排水マット)



R7年度 公共 起工

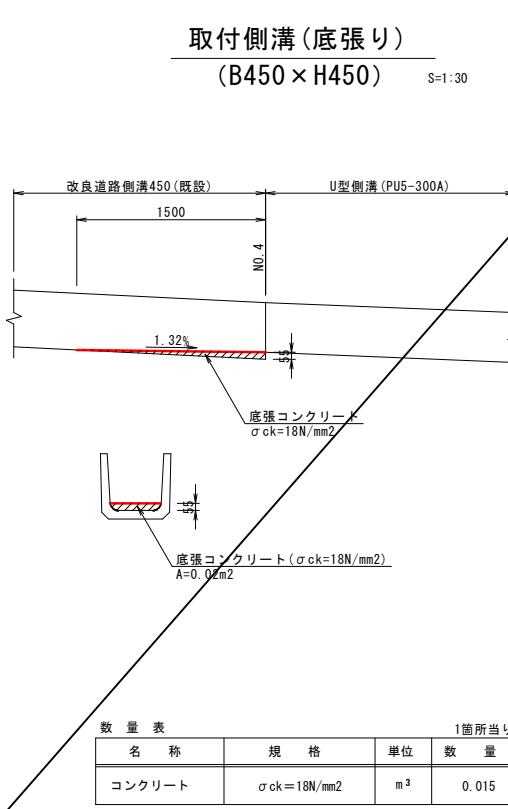
路線名	県道倉吉江府溝口線			
県道倉吉江府溝口線(御机工区) 堆雪帯設置工事(5工区)(交付金雪寒)				
図名	2号補強土擁壁工排水計画図			
位置	日野郡江府町御机			
縮尺	図示	単位 MM		
図号	全 16 葉中の内 10			
令和 7 年度施行	鳥取県			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局				
※A3出力時：縮尺50%				

工程	種別	規格寸法	単位	数量
切盛境排水	排水材	W=300, t=50	m	36.1
	有孔管 (縦断管)	φ=150 360° 有孔	m	57.7
	有孔管 (横断管)	φ=150 120° 有孔	m	10.5
縦断・横断 方向排水	T字ジョイント	φ=150	個	2.0
	不織布	目付100g/m²	m²	135.6
	碎石		m³	15.8

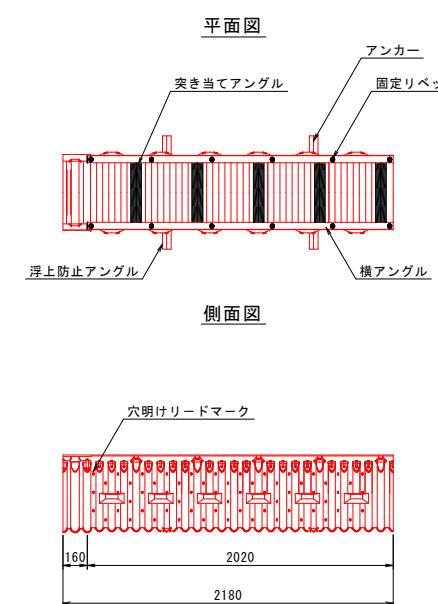
φ : 直径 (mm), W : 幅 (mm)  
数量はロス率含む

- 1) ← は、縦断管勾配方向を示す。
- 2) ● は、横断管排出位置を示す。
- 3) 切盛境には500×500mmの碎石層または同等の排水能力を有する排水材(裏面排水マットなど)を設置する。
- 4) 切盛境排水工の設置間隔は5mとするが、地山の湧水状況に応じて決定する。
- 5) 補強土壁天端には盛土内への水の浸入を防ぐためのシールコンクリートや排水溝を設ける。

取付側溝(底張り)  
(B450×H450) S=1:30

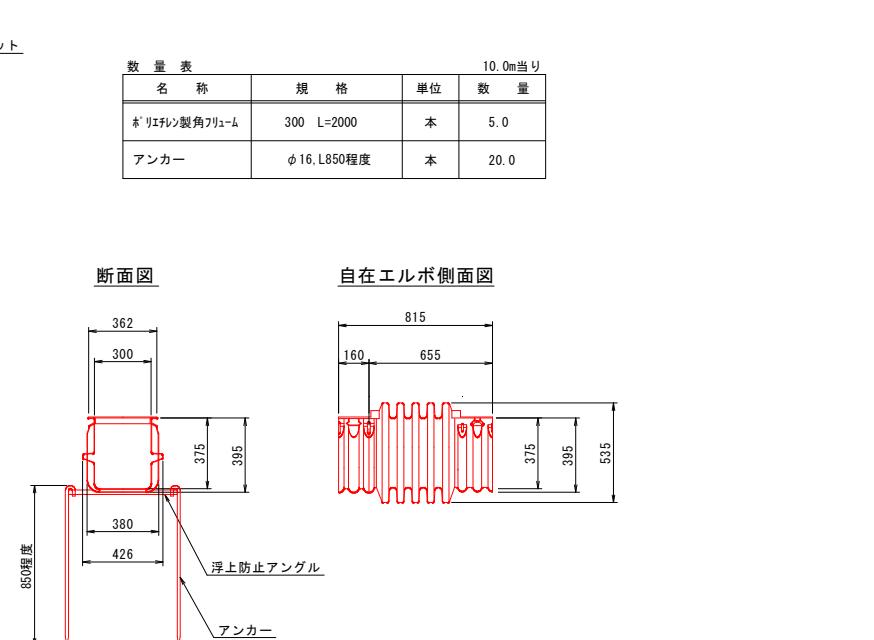


ポリエチレン製角フリューム(B300)  
S=1:20



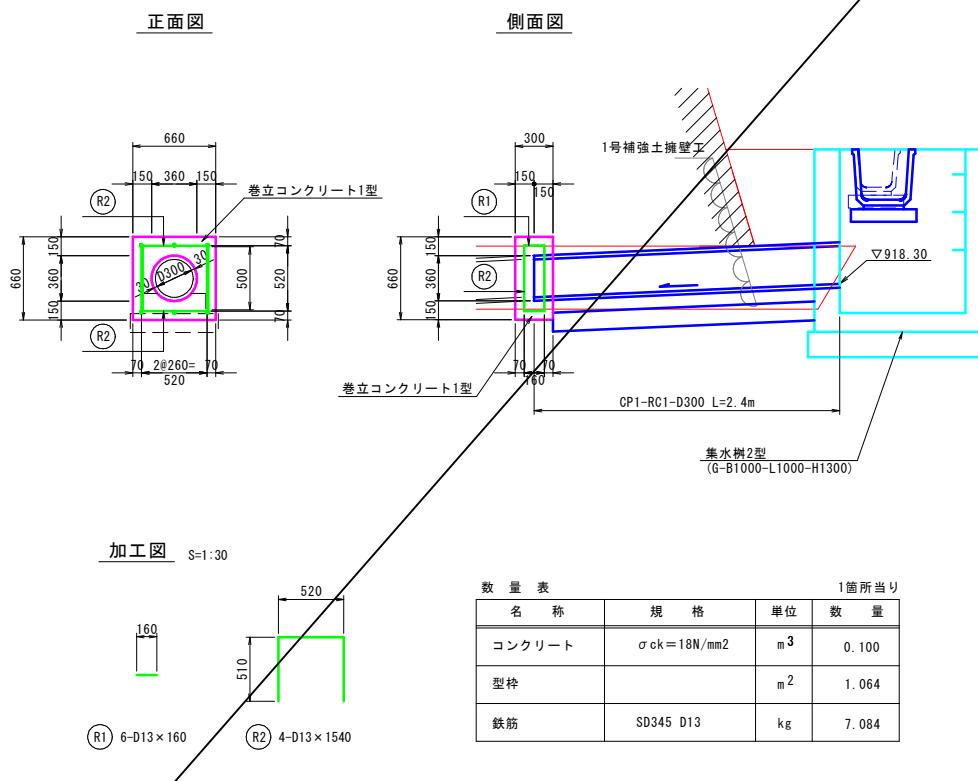
数量表 10.0m当り			
名 称	規 格	単 位	数 量
ポリエチレン製角フリューム	300 L=2000	本	5.0
アンカー	φ16, L850程度	本	20.0

フリューム  
(FS-300) S=1:10

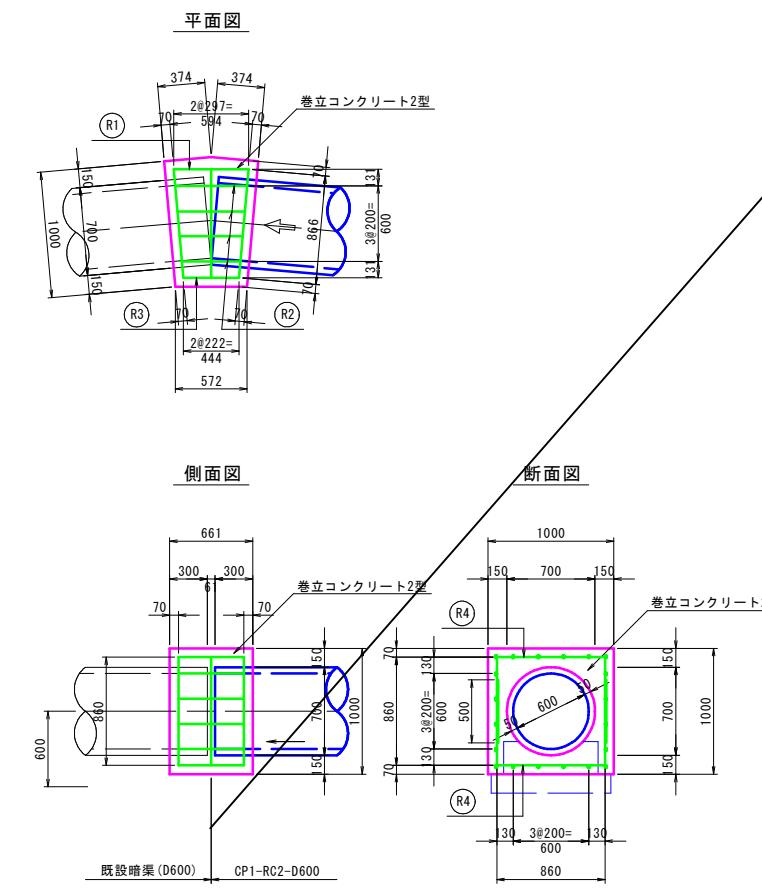


数量表 10.0m当り			
名 称	規 格	単 位	数 量
フリューム	FS-300 L=2000	個	5.0
敷モルタル	1:3	m³	0.072
基礎碎石	RC-40 t=10cm	m²	4.4

巻立コンクリート1型  
S=1:30



巻立コンクリート2型 S=1:30



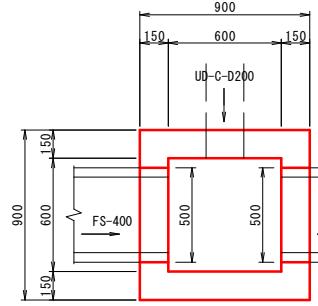
数量表 1箇所当り			
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	σ ck=18N/mm²	m³	0.407
型枠		m²	2.552
鉄筋	SD345 D13	kg	23.542

R7年度 公共 起工	
側溝工、巻立コンクリート	
路線名	県道倉吉江府溝口線
	県道倉吉江府溝口線(御机工区) 堆雪帯設置工事(5工区)(交付金雪寒)
図名	構造図 (其の 1 )
位置	日野郡江府町御机
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 16 葉中の内 11
令和 7 年度施行	鳥取県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

※A3出力時：縮尺50%



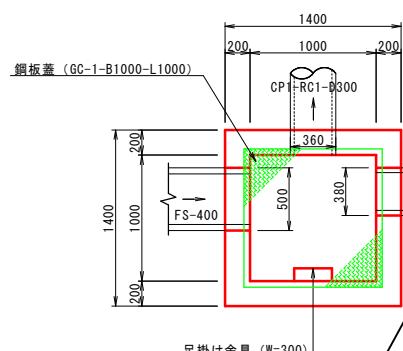
位置: N0. 9+16. 3 右側



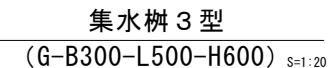
数量表			1箇所当り
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck} = 18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.320
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	4.500
基礎碎石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	1.000



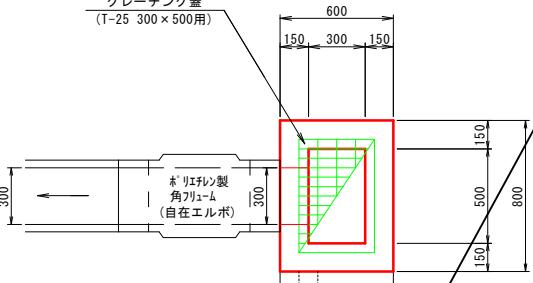
位置: NO. 12+17/3 右側



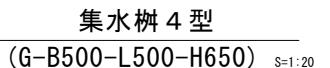
数量表		1箇所当	
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	1.449
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	13.920
基礎砕石	RC-40 t=20cm	m	2.250
足掛け金具	W=300	本	3
鋼板蓋	GC-1-B1000-L1000	枚	1



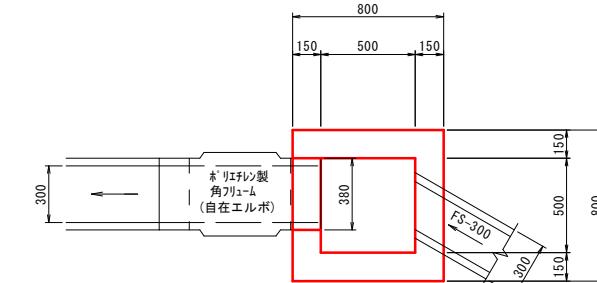
位置: NO. 16+16.5 左側



数 量 表		1箇所当り	
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck} = 18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.251
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	3.300
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	0.630
グレーチング蓋	T-25 300×500用	枚	1
自在エルボ	ポリエチレン製 角フリュームB300用	個	1

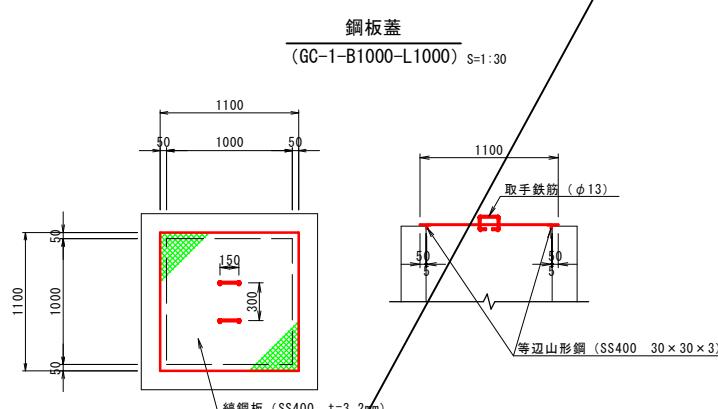


位置:N0. 18+8. 0右側



Technical drawing of a concrete structure with dimensions and labels. The structure is a rectangular frame with a central vertical column. The overall width is 800, and the height is 919.50. The central column has a height of 490. The structure is supported by a foundation with a thickness of 150. The drawing shows a slope on the left side. Labels include: 800, 150, 500, 150, 919.50, FS-300, 335, 650, 900, 150, 490, 919.03, 335, 650, 150, 60, 800, 50, 50, コンクリート (18N-8-40), and 基礎碎石 (PC-40).

数量表		1箇所当たり	
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$m^3$	0.306
型枠	小型構造物	$m^2$	4.160
基礎碎石	RC-40 t=15cm	$m^2$	0.810
自在エルボ	ポリエチレン製 角フリュームB300用	個	1



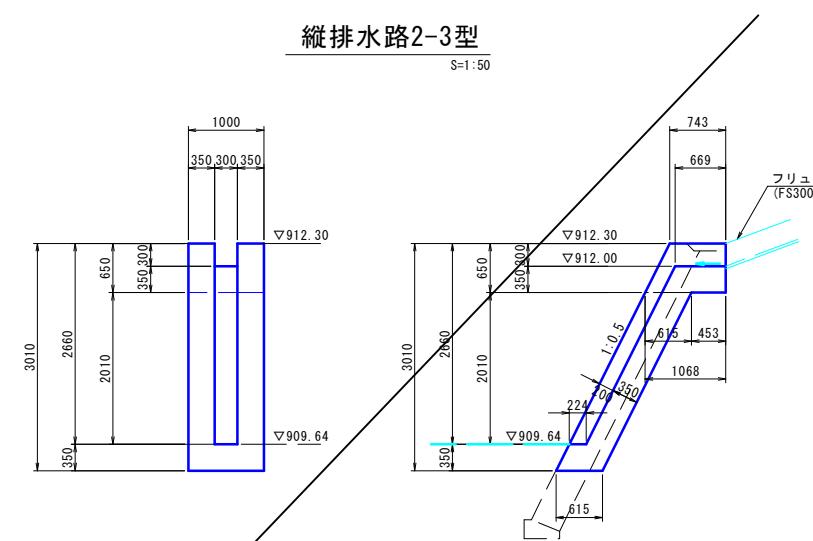
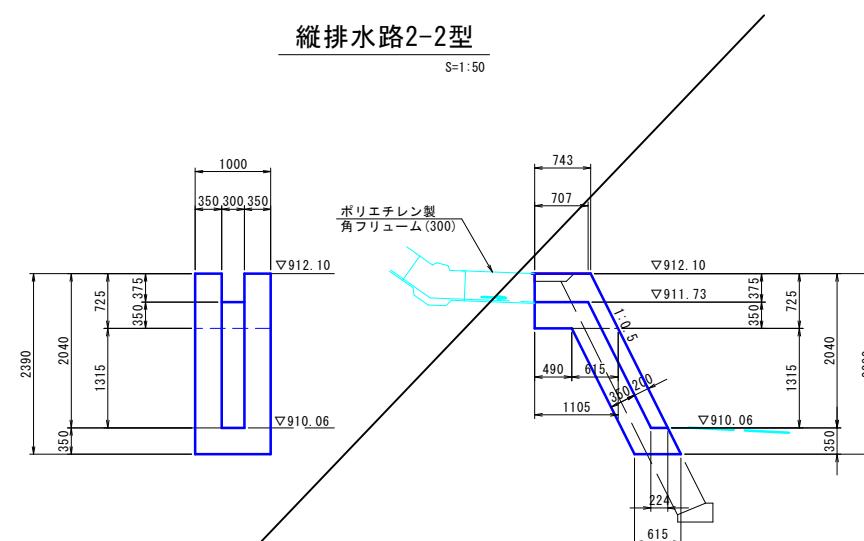
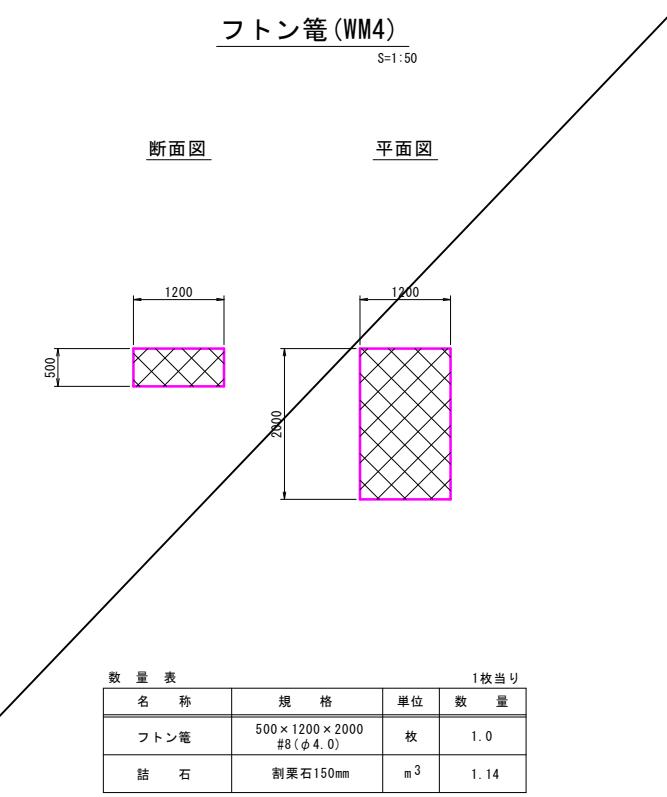
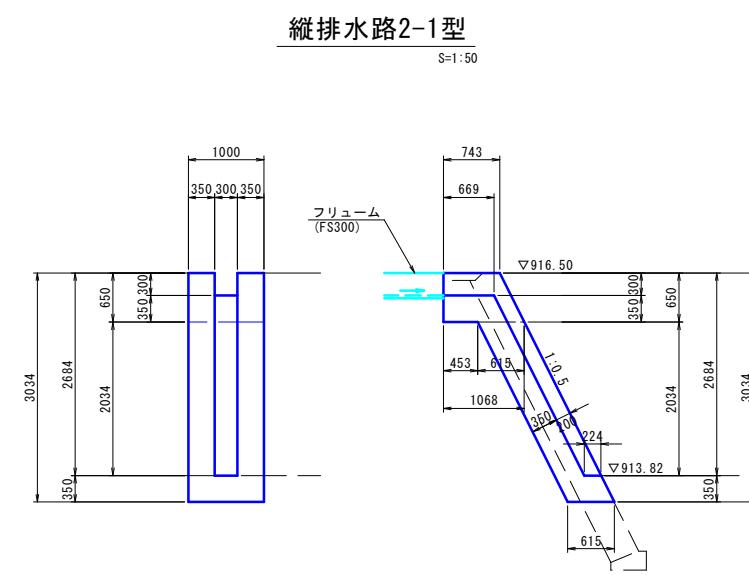
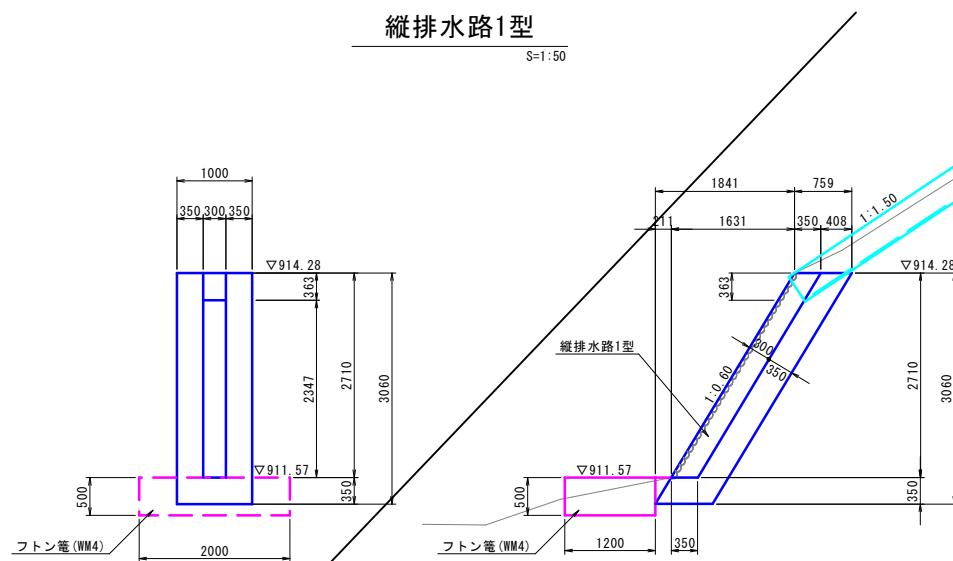
材料表		1枚当	
名 称	規 格	单 位	数 量
継钢板	SS400 t=3.2mm	kg	32.04
等边山形鋼	SS400 30×30×3	kg	2.693
取手鉄筋	ø 13	kg	0.936

R7年度 公共 起工

### 集水汎1型～4型

路線名	県道倉吉江府溝口線		
県道倉吉江府溝口線(御机工区) 堆雪帯設置工事(5工区)(交付金雪寒)			
図名	構造図 (其の 2 )		
位置	日野郡江府町御机		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 16	葉中の内	12
令和 7 年度施行	鳥取県		
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時：縮尺50%



R7年度 公共 起工

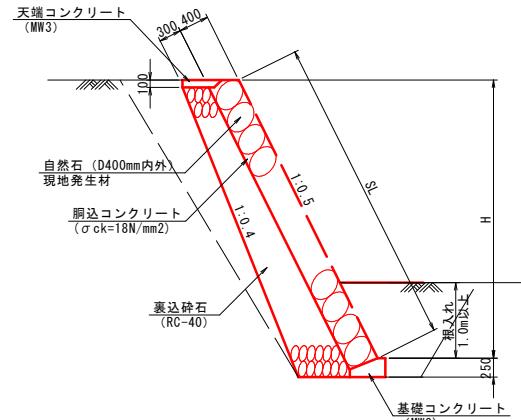
縦排水路、フトン管

路線名	県道倉吉江府溝口線			
県道倉吉江府溝口線(御机工区)				
堆雪帯設置工事(5工区)(交付金雪寒)				
図名	構造図 (其の 3 )			
位置	日野郡江府町御机			
縮尺	図示	単位 MM		
図号	全 16	葉中の内 13		
令和 7 年度施行	鳥取県			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局				
※A3出力時 : 縮尺50%				

## 石積擁壁 (MW3)

### 標準横断面図

S=1:50

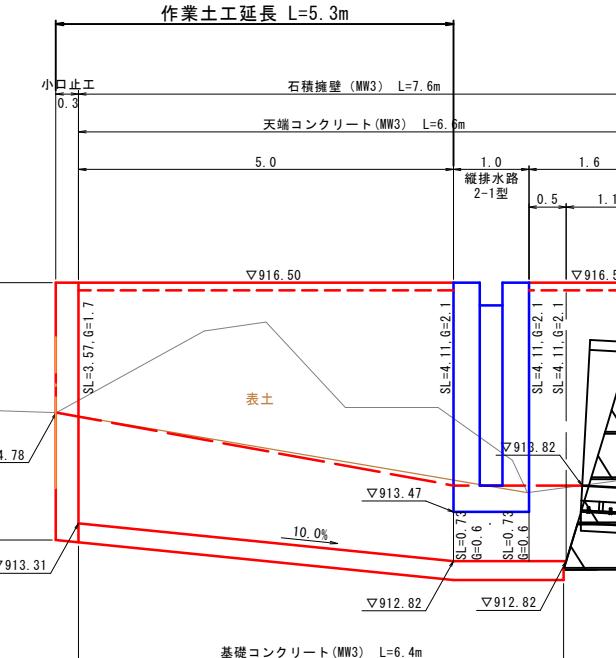


数量表			
名 称	規 格	単 位	1式当り
石 積	控え40cm	m³	24.25
脇込コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m³	3.23
裏込碎石	RC-40	m³	12.4
基礎コンクリート	MW3 ( $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ )	m³	0.30
天端コンクリート	MW3 ( $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ )	m³	0.59
小口止工	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m³	0.98

### NO. 17+14.7付近 右側

#### 展開図

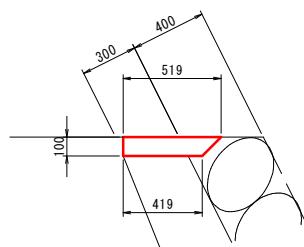
S=1:50



プレキャストボックスカルバート  
B1100×H2000

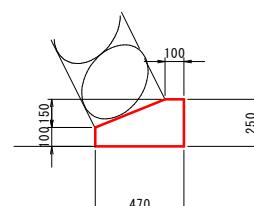
### 天端コンクリート (MW3)

S=1:20



### 基礎コンクリート (MW3)

S=1:20

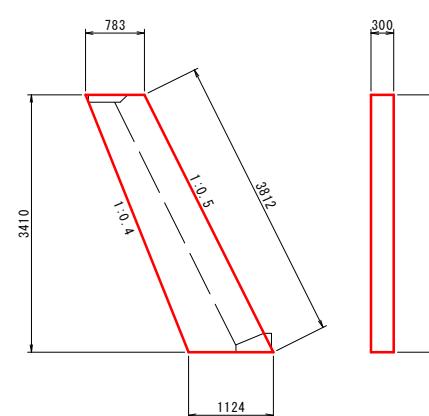


数量表			
名 称	規 格	単 位	10.0m当り
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m³	0.469
型 枠	小型構造物	m²	1.000

数量表			
名 称	規 格	単 位	10.0m当り
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m³	0.898
型 枠	小型構造物	m²	3.500

### 小口止工

S=1:50



数量表			
名 称	規 格	単 位	1箇所当り
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m³	0.975
型 枠	小型構造物	m²	7.646

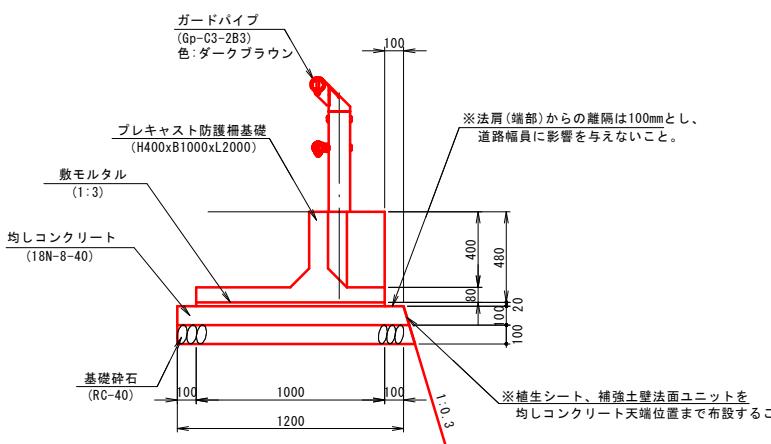
R7年度 公共 起工

石積擁壁 (MW3)

路 線 名	県道倉吉江府溝口線
県道倉吉江府溝口線(御机工区) 堆雪帯設置工事(5工区)(交付金雪寒)	
図 名	構造図 (其の 4 )
位 置	日野郡江府町御机
縮 尺	図示 単 位 MM, M
図 号	全 16 葉中の内 14
令和 7 年度施行	鳥取県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

※A3出力時：縮尺50%

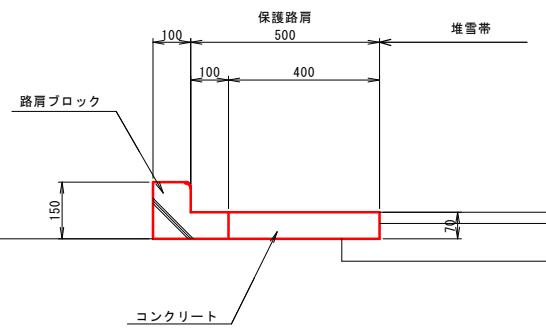
ガードパイプ(Gp-C3-2B3) 景観型  
プレキャスト防護柵基礎(BGR4) S=1:20



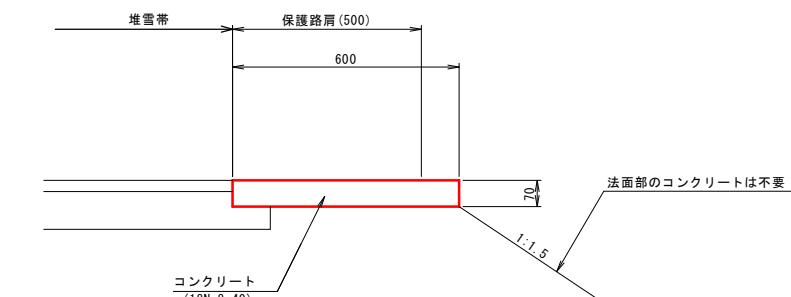
ガードパイプ(Gp-C3-2B3) 数量表 10.0m当り			
名 称	規 格	単 位	数 量
ガードパイプ	Gp-C3-2B3 色:ダークブラウン	m	10.0

プレキャスト防護柵基礎 数量表 10.0m当り			
名 称	規 格	単 位	数 量
プレキャスト防護柵基礎	H400xB1000xL2000	個	5.0
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.2
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	1.2
均し型枠		m <sup>2</sup>	2.0
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	12.0
レキ青繊維質板	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.13

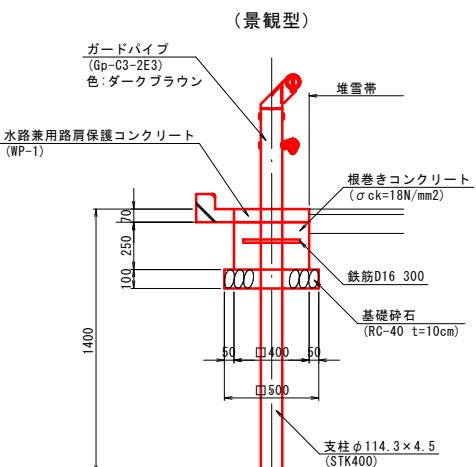
水路兼用路肩保護コンクリート  
(WP-1) S=1:10



路肩保護コンクリート  
(PS-1) S=1:10

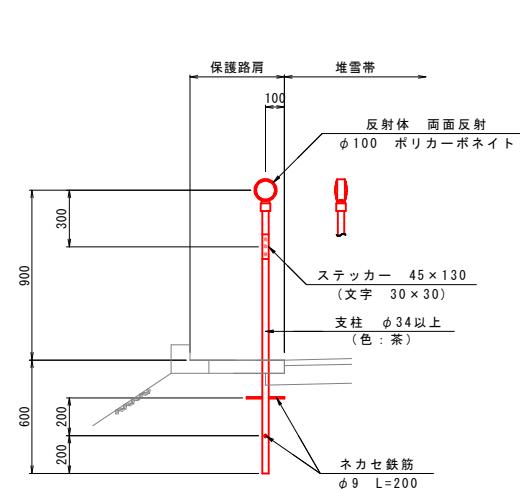


ガードパイプ(Gp-C3-2E3) S=1:20



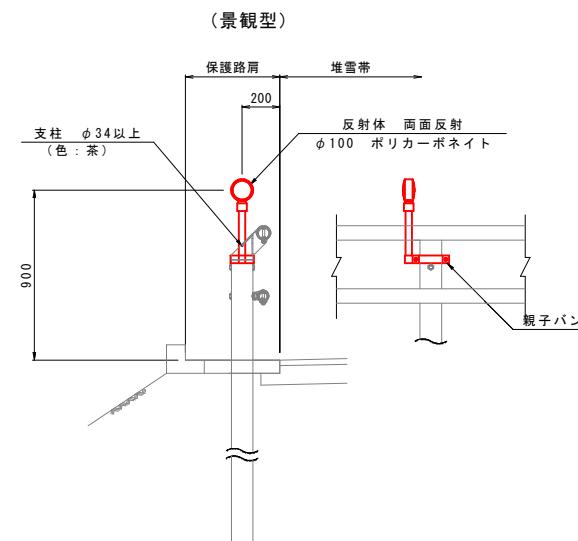
数量表 10.0m当り			
名 称	規 格	単 位	数 量
ガードパイプ	Gp-C3-2E3 色:ダークブラウン	m	10.0
根巻きコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.20
同上型枠		m <sup>2</sup>	2.00
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	1.25
鉄筋	D16 300	kg	2.34

視線誘導標  
土中建込用 S=1:20



数量表 10本当り			
名 称	規 格	単 位	数 量
視線誘導標	土中建込用	本	10.0

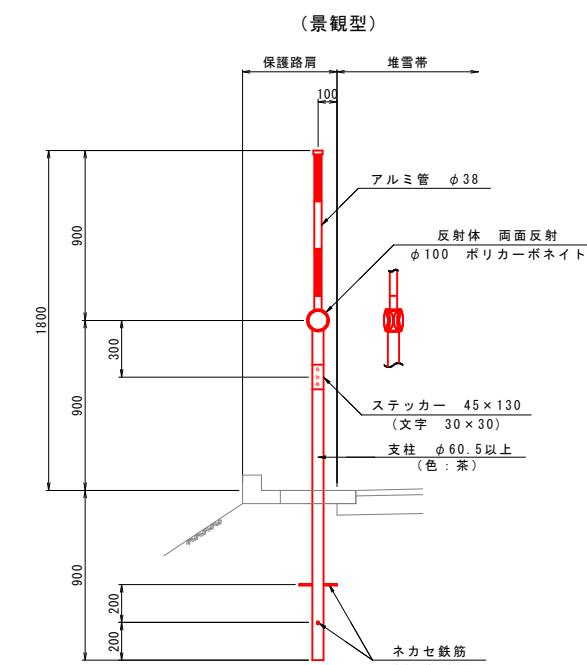
視線誘導標  
防護柵取付用 S=1:20



数量表 10本当り			
名 称	規 格	単 位	数 量
視線誘導標	防護柵取付用(バンド式)	本	10.0

スノーボール併用型視線誘導標

土中建込用 S=1:20



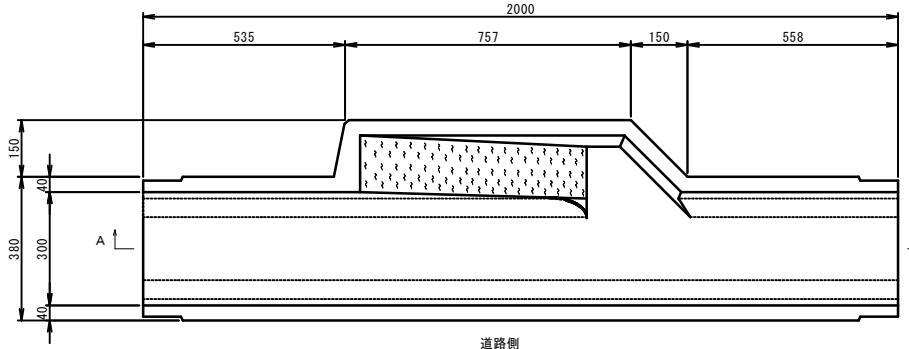
数量表 10本当り			
名 称	規 格	単 位	数 量
視線誘導標	スノーボール併用型 土中建込用	本	10.0

R7年度 公共 起工	
防護柵工、路肩保護工、視線誘導標	
路線名	県道倉吉江府溝口線
構造	県道倉吉江府溝口線(御机工区) 堆雪帯設置工事(5工区)(交付金雪寒)
図名	構造図 (其の 5 )
位置	日野郡江府町御机
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 16 葉中の内 15
令和 7 年度施行	鳥取県
※A3出力時：縮尺50%	

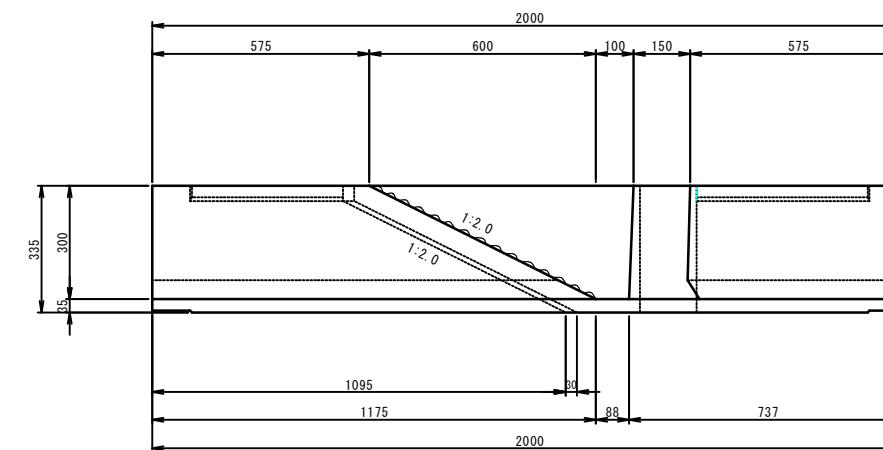
# 構造図 S=1:10

## 小動物保護柵 1型 (FS-300用)

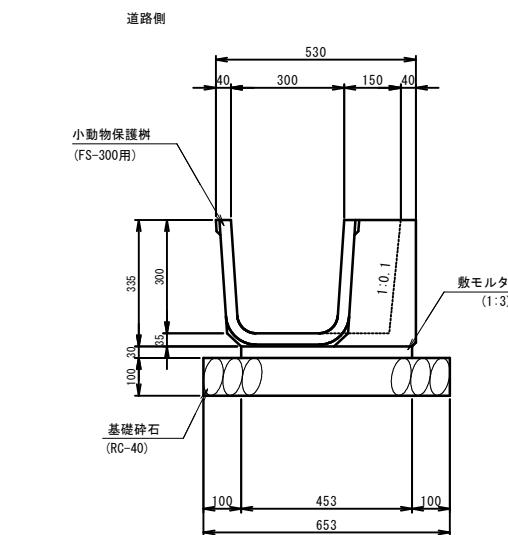
平面図



A-A断面図



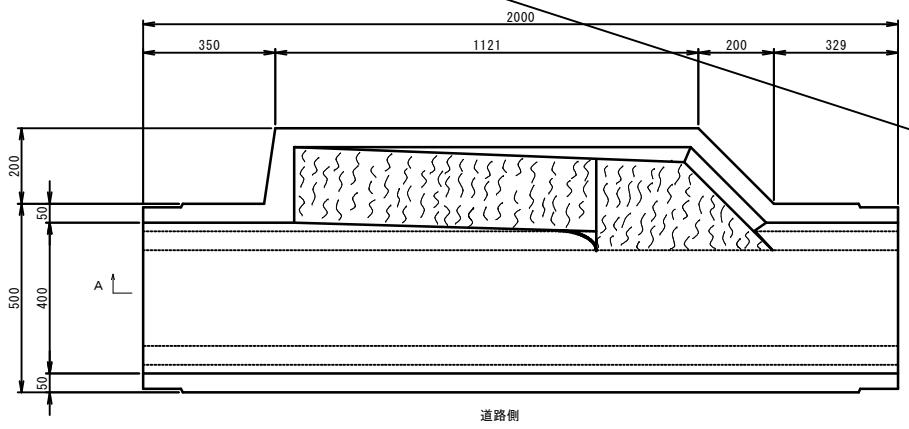
正面図



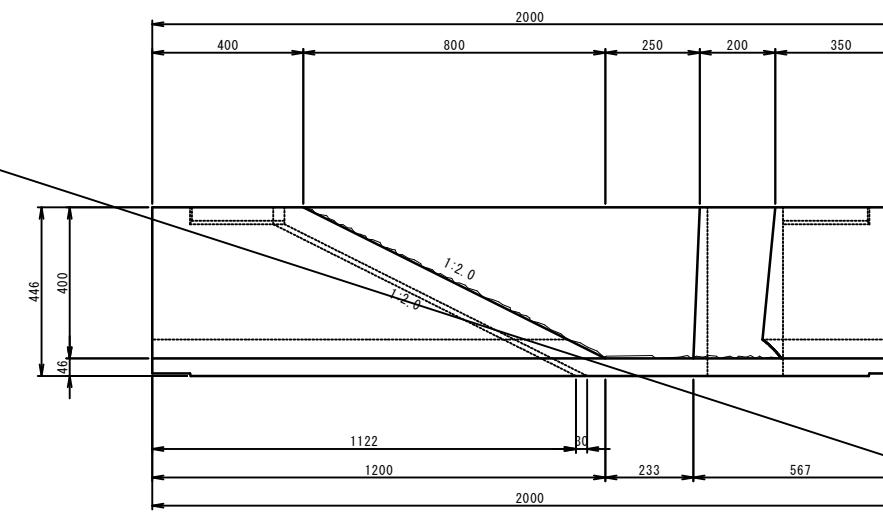
数量表 1箇所当り			
名 称	規 格	単 位	数 量
小動物保護柵	FS-300用	個	1.0
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.027
基礎碎石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	1.306

## 小動物保護柵 2型 (FS-400用)

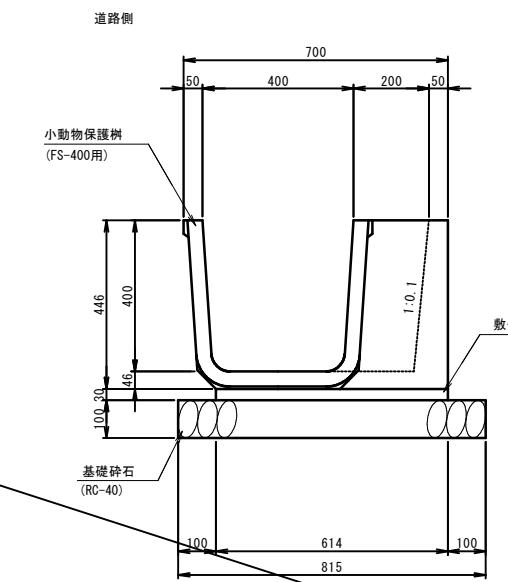
平面図



A-A断面図



正面図



数量表 1箇所当り			
名 称	規 格	単 位	数 量
小動物保護柵	FS-400用	個	1.0
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.037
基礎碎石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	1.630

R7年度 公共 起工 参考図			
路 線 名		県道倉吉江府溝口線	
県道倉吉江府溝口線(御机工区) 堆雪帯設置工事(5工区)(交付金雪寒)			
図 名		構造図 (其の 6 )	
位 置	日野郡江府町御机		
縮 尺	1:10	单 位	MM
图 号	全 16	葉 中 の 内	16
令 和 7 年 度 施 行	鳥取県		
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※ メーカー推奨の設置間隔は20~60mである。

本設計では40mに1箇所を標準として計画するが、設置については現地状況、地形等を確認し設置すること。

※A3出力時：縮尺50%